

あぶたんつうしん 125号

あぶくま大堰 R E P O R T

総合学習

11月6日(水)、毎年恒例となっている亘理町立逢隈小学校4年生、(総勢85名)の総合学習が阿武隈大堰で開催されました。

総合学習では、操作室で阿武隈大堰の目的・役割を学び、実際に現地でゲートの操作やサケの遡上も見学しました。

当日は、昨年同様天気が良く、見学日和でした。



熱心に操作室で説明を聞く様子



予備発電気室での見学状況



管理橋から川面を見下ろしています

皆さん熱心に説明内容のメモをとる姿があり、たくさんの質問が寄せられました。阿武隈大堰のことを、たくさん学べたと思います。

おまけに、テレビ局の取材を受け、テレビにも映っちゃったね!

管理橋から見えるたくさんのサケの姿に皆さんびっくり!
「こんなにいっぱいいるんだ。」「食べたい!」など声が上がりました。
(ごめんね、阿武隈川のサケは勝手に捕ってはダメなんですよ。)



たくさんのサケがいました

工事現場レポート①

工事現場の担当者に、現場で苦労した点などについてお聞きしました。

■復旧工事を行うにあたり、苦労したことはありますか?

震災の影響で多くの復旧工事があり、コンクリートなどの資材がなかなか手に入らなかったのが一番かもしれません。思うように工事が進まないことが、復興を待ちわびる地域の皆さんに対して申し訳なく感じました。

また、地中に鉄製の板(鋼矢板)を打ち込む際、昔使われていた船着場(おそらく明治~大正時代)の石積みにあたってしまい、施工が困難な状況になりましたが、固い地盤でも矢板の施工が可能な新工法(硬質地盤クリア工法)を採用することで、対処をすることが出来ました。



堤防保護のコンクリート設置状況



堤防天端をコンクリートでの打設状況

今回お話を頂いたのは...

■阿武隈川下流荒浜3工区堤防災害復旧工事(津波で壊れた河口部の堤防をより強くする工事)
現場代理人 目黒 克 さん
兵庫県出身。いつも笑顔の現場代理人さんです。



船着場

明治~大正時代の様子 提供: 亘理町郷土資料館

■復旧工事を行うにあたり、励みになったことを教えてください。

現在仮設住宅にお住まいになっていらっしゃる方など、皆さまからは工事に協力的なお言葉をいただいております。早期に堤防が完成するように、仕事に励んでおります。

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 岩沼出張所
岩沼市館下1丁目2番9号 TEL0223-22-2801 FAX0223-22-2802

